

株主様とともに

スピーディな開示体制づくり

ワタミ(株)執行役員 経営管理部長 武藤 輝一

様々な事業分野で収益性を高め、安定した利益を確保し、それを株主・投資家の皆様に還元していくこと、これがワタミグループが株主に負っている最大の責任であると考えています。

これからも株主・投資家の皆様の適正な投資判断のために、外食事業のみならず、介護・農業・環境・教育といったワタミグループの取り組みを、より正しく、より透明性を高く、よりスピーディに開示する体制をつくり上げていきます。

また、グループ事業の展開に伴い、ガバナンスやリスクマネジメントといった面においても、適切な情報開示が必要であると考えています。

2006年度は、より多くの株主・投資家の皆様にご満足いただける情報開示の体制づくりを重点課題として取り組んでいきます。



証券市場の声に真摯に

ワタミ(株)社長室長 中川 直洋

ワタミグループでは、株主様と積極的な対話を行い、経営に反映していくことが大切であると考えています。

機関投資家・アナリストの皆様に対しては、決算発表後にトップによる決算説明会を開催するほか、スモールミーティングやワンオンワンミーティングを積極的に行い、経営状況や今後の事業展開について説明させていただき、証券市場の声に真摯に耳を傾けています。

個人株主様に対しましては、年2回アンケートハガキを送付させていただき、そのご回答内容を経営に活かしています。



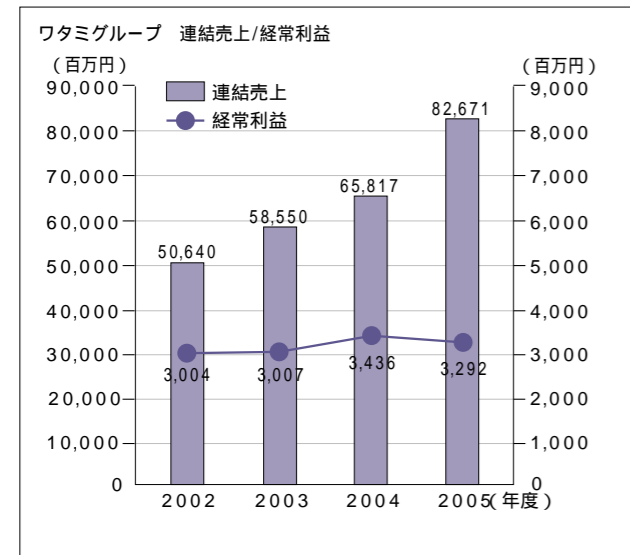
株主様の満足を目指して

株主様との対話を続け、安定配当の維持や事業理念の共有を図っています。

安定配当の維持を基本に

ワタミ(株)では、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としながら、業績と財務状況などを鑑みながら還元を実施しています。2005年度の配当金は、通期で10円、配当性向は2005年3月期27.1%で、2006年3月期は10円配当で34.6%となりました。

店頭公開時、目標とした20%を上回る株主還元を行っていますが、中長期的な事業計画を見据え減配は行いませんでした。



また、収益性・資金効率の観点から、重要経営指標としてROC(使用資本経常利益率)を掲げています。今後は中心となる外食事業に加えて介護事業などのグループ事業の拡大をはかり、2010年25%を目指しています。

個別の投資案件につきましては、投資基準を明確にするためROI指標を活用し各事業の投資回収管理を徹底し、2009年には格付け「A」の取得を目指し、企業価値のさらなる拡大に努めています。

ROC 経常利益÷(有利子負債+株主資本)

年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
ROC	14.02%	11.15%	8.26%	6.94%

1株あたり純資産額/1株あたり配当額/配当性向/1株あたり当期純利益

年度	1株あたり純資産額(円)	1株あたり配当額(円)	配当性向(%)	1株あたり当期純利益(円)
2002年度	406.80	15	41.2	36.37
2003年度	413.31	10	40.1	24.91
2004年度	441.65	10	27.1	36.86
2005年度	458.77	10	34.6	28.83

2002年3月末を基準として、株式1株を1.5株に無償分割しております。対象は、1株あたり純資産額はグループ連結、1株あたり配当金額・配当性向・1株あたり当期純利益はワタミ(株)

株価

年度	高値(円)	安値(円)	年度末終値(円)
2002年度	1,929	574	650
2003年度	890	610	838
2004年度	1,100	800	930
2005年度	2,120	890	1,819

積極的な情報開示

ワタミ(株)では、企業情報の開示は非常に重要との認識で、適切かつ迅速な情報提供のために担当部署を設け、積極的に活動しています。お問い合わせに対しては、公平かつ正確な情報の提供を追求しています。

有価証券報告書、およびリリースをすべてを、日本証券業協会に株式を店頭登録した翌年の1997年からワタミふれあいホームページに公開しています。

また、事業報告書を年2回発行するほか、毎月10日をめどに近況報告を発表し、タイムリーな情報発信に努めています。当社の近況報告は、東京証券取引所に提出した後、ホームページにも掲載し、中心となる外食事業をはじめ、介護事業や新規事業への取り組みなど活動状況を公開しています。



ワタミふれあいホームページのIRページ(近況)

参加しやすい株主総会を目指して

個人株主が多いことに留意し、集中日を避けた土曜日に株主総会を開催、より多くの株主様が参加できるように努めています。

株主総会終了後には、事業戦略や株主様との質疑応答をするための経営説明会を開催し積極的な交流を行っています。

2005年度からは、東京での開催に加えて、関西地区でも経営説明会の実施を始めました。

機関投資家向けに様々な活動を

決算発表の同日に、株式市場関係者・報道機関の方々を対象にした「決算説明会」を実施、その資料の内容はワタミふれあいホームページにて公開しています。

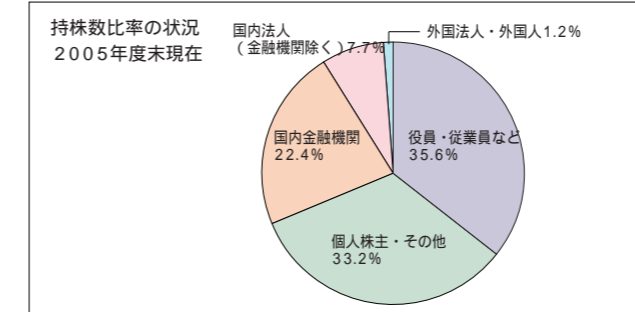
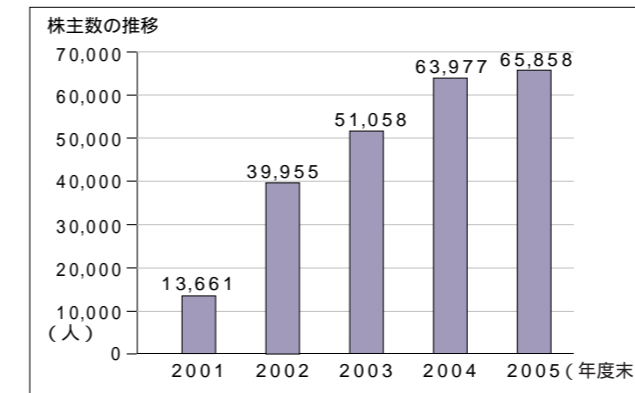
さらに、機関投資家向けのスモールミーティングやワンオンワンミーティングを開催しています。

2005年度は、証券会社主催の外国人投資家向けに開催された「ジャパンコンファレンス」にも参加しました。

株主構成について

ワタミ(株)では、株主様はもちろん、ステークホルダーの皆様積極的にIR活動を実施し、株主様10万人を目指しています。

現在の持株数比率は、「役員・従業員など 35.6%」「個人株主・その他 33.2%」「国内金融機関 22.4%」「国内法人(金融機関除く)7.7%」「外国法人・外国人1.2%」となっています。また、ほぼ全従業員が「持株会」を通じてワタミの株式を保有し、経営への参加意識を高めています。



社会的責任投資(SRI)での評価

SRI: Socially Responsible Investment

近年、金融(株式)市場では、財務的な観点だけでなく環境保全や人権への配慮、倫理性・社会貢献といった観点を投資判断の評価基準とする社会的責任投資(SRI)に対する関心が高まっています。

ワタミでは、「モーニングスター社会的責任投資株価指数(2006年5月1日時点)」のインデックス構成銘柄に採用されています。

また、複数のSRIファンドにも組み入れられています。



モーニングスター「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター(株)が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定した国内初の社会的責任投資株価指数です。

組み入れられているファンド

運用会社名	ファンド名称
野村アセットマネジメント	モーニングスター-SRIインデックス・オープン(愛称:つながり) 2006年7月18日時点
三井住友アセットマネジメント	エコバランス(愛称:海と空) 2006年7月31日時点
三菱UFJ SRIファンド	三菱UFJ SRIファンド(愛称:ファミリー・フレンドリー) 2005年11月21日時点

TOPICS 日本IR協議会「第10回IR優良企業」で奨励賞を受賞

2005年12月、日本IR協議会(JIRA)が選定する「IR優良企業奨励賞」を受賞いたしました。

これは、IRの主旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を上げた企業を表彰するものです。

当社としては、介護などの新事業に進出する中でIRの改善に取り組んだこと、経営トップとともに投資家へのコミュニケーションに努めていること、アナリストの業績予測に有用な月次の店舗情報を定期的に開示していること、株主総会には株主様以外のマスコミアナリストも招き、開かれた総会にしていることなどが評価され、受賞につながったものと考えます。



TOPICS 株主様ご優待券を「NPO法人への寄付」に

ワタミ(株)では、外食店舗で利用できる割引券として株主様ご優待券を年2回発送しています。ご優待券は、ワタミファームが販売する有機野菜やアイスクリームを購入する際の割引券としてもご利用いただけます。

さらに、2005年度からはNPO法人「スクール・エイド・ジャパン」への寄付としてご利用いただけるようになりました。これは、2005年度の第19期定時株主総会で、株主様より提案があり導入された制度です。

2005年度は、株主様ご優待券より255,600円が寄付されました。



株主様ご優待券

開かれた総会を目指して

第20期定時株主総会ご報告

2006年6月24日(土) 両国国技館(東京都墨田区)にて、第20期定時株主総会および経営説明会を開催しました。当期の事業・社会貢献活動を収録したビデオ上映も行いました。

株主様、同伴者様などあわせて7,252名の方々をご参加くださいました。株主総会・経営説明会では、積極的なご意見やご提言をいただくことができました。

会場では、各事業の活動を紹介するブースの設置、有機野菜の「即売会」、お好み焼や焼鳥などの「出店(でみせ)」、介護食(ソフト食)の試食などを行うほか、お子様向けのキッズコーナーを設営しました。

また、グループ社員がボランティアをさせていただいている障害者施設の方が、授産品を販売するスペースも用意させていただきました。当日のチャリティ販売等の収益金は、NPO法人「スクール・エイド・ジャパン」へ全額寄付しました(授産品販売除く)。

関西地区でも、グランキューブ大阪(大阪国際会議場)にてワタミ(株)第2回関西地区経営説明会を2006年7月1日(土)に開催し、1,224名の方々に参加しました。株主総会と同じく経営説明とビデオ上映を実施し、株主様から活発なご意見やご提言を頂戴しました。

2005年度株主総会質問内容への回答

Q1. [財務状況] 自己資本比率が低下しているが、増資により自己資本を増強することを検討しているか?	[回答] 自己資本については、今後の利益の蓄積により強化する考えであり、現在は、増資(エクイティファイナンス)の計画はありません。
Q2. [財務状況] 資金調達を借入れで行うよりも、増資をして株主に配当を支払うという考え方もあるのではないか?	[回答] 増資をすることにより1株当たりの利益の希薄化を懸念しており、現状の低金利下では、銀行借入れが既存株主様のためになると考えています。
Q3. [配当性向] 現状の配当性向を30%にまで高める考えは?	[回答] 今後の成長を考えると、内部留保も必要であり、配当性向は20%を基本とし、その分株価の上昇により株主様の期待にはお応えしたいと考えています。
Q4. [ストックオプション] スtockオプションの付与基準は? 潜在株式の増加時の対応は?	[回答] 潜在株式5%超過時には、自社株買いで対応。想定利益の5%以内の費用計上を原則としています。



多くの株主様と交流をさせていただきました。(会場内)

各事業の活動を紹介するブースなど



外食事業展示



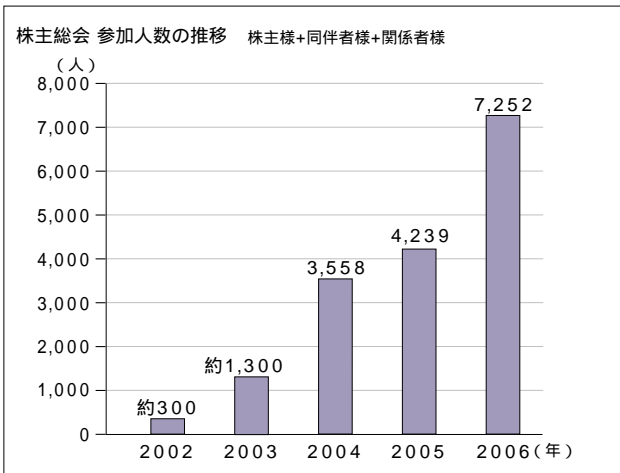
介護事業ブース



環境事業展示



有機野菜即売会



キッズコーナーでは、輪投げやぬり絵、七夕の短冊づくりが行われました。



事前にご予約・ご購入された方にはお弁当を用意しました。